※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）衣実践	単位数	2	年次	２～３
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

被服構成、被服材料、被服製作などについて理解し、関連する技術を実践的・体験的な学習活動を通して身に付けます。

2　学習の到達目標

① 被服製作の基本から発展までを系統的に理解するとともに、関連する技術を段階的に身に付ける。
② 身に付けた知識と技術を活用し、衣生活やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。
③ 学習内容を実生活に応用し、よりよい社会や豊かな衣生活の実現に向けて主体的に取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・被服材料、構成、製作の理論、技術について理解している。 ・被服を創造的に製作するために必要な知識と技能を身につけている。	・衣生活やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 ・基礎的な知識と技能を活用して適切に判断し、創意工夫をする能力を身に付けている。	・学習内容を実生活に応用し、衣生活の充実向上を目指して課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭・地域の生活向上を図るために実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、前期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	被服構成	◆人体と被服	a. 人体構造と被服との関連性、立体構成や平面構成の特徴を理解する。 b. 人体を覆う被服の形について考え、被服構成と動作に適応した被服のゆるみを考えることができる。 c. 被服構成に関心をもち、製作に取り入れようとしている。	実技 ワークシート テスト	ワークシート 実技 授業観察 テスト	授業観察 実技 レポート ワークシート
	被服材料	◆被服材料の特徴と性能 ◆用途に応じた被服材料の選択	a. 被服材料の特徴と性能を理解している。 b. 被服製作や着用する場面や目的に適した被服材料を考えることができる。 c. 被服材料の特徴と性能を理解し、用途や目的に応じた被服材料の選択を実践しようとしている。	実技 ワークシート テスト	ワークシート 実技 授業観察 テスト	授業観察 実技 レポート ワークシート
	被服製作	◆被服製作	a.　衣服の構成、パターンの種類、生地の性質や扱い方、用具の適切な使用方法、縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 b.　印付け、基礎縫いなど、学んだ基礎的な技能を製作に用い、作品で表現することができる。製作過程で課題を見つけ、学んだ知識と技能を活用して、合理的かつ創造的な解決を考えることができる。 c.　基本的知識と技術を積極的に用いて作品製作に主体的に取り組み、創造力を働かせて表現しようとしている。 自由製作により技術の向上を図ろうとしている。	実技 ワークシート テスト	ワークシート 実技 授業観察 テスト	授業観察 実技 レポート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度